

第六編

教育

第一章 学校教育

一から三まで増補改訂版参照

四 学校等の改築と統廃合

1 幼児・児童・生徒数の変遷

明神幼稚園

平成元年、愛媛子育て教室を開催

年 度	在 籍 数			教員 職数	園 長	管 理 者
	男	女	計			
平成元年	5	9	14	2	西田 友三	河野 修
2年	14	9	23	2	〃	〃
3年	16	9	25	2	宇都宮秀雄	〃
4年	11	9	20	2	〃	〃
5年	11	10	21	2	宮内 正夫	〃
6年	9	9	18	2	〃	〃
7年	12	7	19	2	〃	〃
8年	9	4	13	2	矢野 肇	〃
9年	8	6	14	2	〃	〃
10年	5	6	11	2	〃	〃
11年	5	9	14	2	武智 省三	玉水 寿清
12年	5	6	11	2	木下 敬幸	〃
13年	5	6	11	2	〃	〃
14年	6	4	10	2	乃万 泰志	〃
15年	8	4	12	2	〃	〃

同三年、町内幼児教育夏季研究会場

同七年、働く親の為の学級を開く。三歳児保育を開催する

同八年、町内幼児教育研究会場となる

同十二年、玄関アーチ塗装する

同十三年、玄関ホール絨毯取り替え

同十四年、保育室掃き出し窓ガラス修理

同十五年、親子遠足（伊予市、しおさい公園）。保育室雨桶修理

久万幼稚園

平成三年、上浮穴郡幼児教育研究会場

年 度	在 籍 数			教員 職数	園 長	管 理 者
	男	女	計			
平成元年	55	50	105	7	高岡 猛	河野 修
2年	42	42	84	7	森岡 春夫	〃
3年	34	45	79	7	〃	〃
4年	47	48	95	7	〃	〃
5年	57	52	109	7	猪上 達勇	〃
6年	54	48	102	7	〃	〃
7年	45	42	87	7	石丸 常	〃
8年	36	32	68	7	〃	〃
9年	40	40	80	7	〃	〃
10年	40	31	71	8	松岡 廣	〃
11年	38	29	67	9	〃	玉水 寿清
12年	33	33	66	9	竹内英一郎	〃
13年	27	44	71	8	〃	〃
14年	29	51	80	8	竹内 重夫	〃
15年	35	45	80	9	〃	〃

同年四月、わくわく発表会を上浮穴産業文化会館で行う

同五年、愛媛国公立幼稚園研究協議会松山支部研究会開催。ミニログ

ハウス2個設置。園舎外壁全面塗装

同七年、小学校運動場側フェンス改修工事

同八年、コピー機購入

同九年、服装検討委員会を設置し、スポーツウェアの見直しを検討する

同二〇年四月、玄関屋根、天井部分の雨漏り修繕、塗装。遊戯室照明器具付け替え工事完了

同二一年四月、三年保育開始。新スポーツウェア着用開始。門扉三箇所新設。洋式便器、温水シャワー設置、絨毯全面張替え。駐車場側フェンス付け替え。ソフト積木購入

同二二年七月、久万町幼児教育研究会会場。一〇月、地域別同和教育研究協議会就学前部会場

同二五年、親子料理教室（年長組）。園庭東の石垣を改修する（二六年三月）

畑野川幼稚園

平成元年、地域ふれあい保育開始

同二年、久万町幼児教育研究会場

同六年、右に同じ

同七年、三年保育開始

同二一年、久万町幼児教育研究会場

同二五年、久万町防災訓練参加。親子工作を実施

保育園・幼稚園沿革

畑野川幼稚園

年 度	在 籍 数			教員 職数	園 長	管 理 者
	男	女	計			
平成元年	7	11	18	2	相原 秋男	河野 修
2年	8	6	14	2	竹井 史一	〃
3年	11	8	19	2	〃	〃
4年	9	13	22	2	〃	〃
5年	14	10	24	2	石丸 常	〃
6年	16	6	22	2	米田 孝弘	〃
7年	10	7	17	2	〃	〃
8年	8	9	17	3	上本 昌幸	〃
9年	8	10	18	3	〃	〃
10年	9	11	20	2	〃	〃
11年	7	8	15	2	竹内 重夫	玉水 寿清
12年	9	8	17	2	〃	〃
13年	9	10	19	2	〃	〃
14年	5	9	14	3	辻田 正明	〃
15年	6	10	16	3	〃	〃

直瀬幼稚園

平成元年、久万町幼児教育研究会会場

同二年、幼稚園舎お別れ会実施、園舎取り壊し

同三年四月二六日、新園舎落成。浪速設計事務所、熊谷組施行、設計監理一六二万円、本体工事費、六八七六万円、備品一五一万五千円、その他一六万四千円、合計七二六万九千円

同五年、玄関・玄関ホールの掲示板新設

同七年、三年保育実施

同八年、園庭にブランコ・滑り台・ネットはんとう棒を設置

保育園・幼稚園沿革

直瀬幼稚園

年 度	在 籍 数			教員 職数	園 長	管 理 者
	男	女	計			
平成元年	6	9	15	2	大野 順広	河野 修
2年	7	9	16	2	〃	〃
3年	8	4	12	2	菅田 顕	〃
4年	7	5	12	2	〃	〃
5年	5	6	11	2	〃	〃
6年	5	9	14	2	倉瀬 奨典	〃
7年	9	10	19	3	〃	〃
8年	10	7	17	2	〃	〃
9年	12	7	19	2	清田 和美	〃
10年	9	9	18	2	〃	〃
11年	6	10	16	2	〃	玉水 寿清
12年	3	9	12	2	森田 正子	〃
13年	5	6	11	2	〃	〃
14年	6	6	12	2	〃	〃
15年	5	6	11	3	〃	〃

同九年、久万町幼児教育研究会場
 同一四年、県幼稚園・小学校関連訪問園となる
 同一五年、七夕のつどい。松山親子遠足を実施
 父二峰幼稚園

平成元年、久万町幼児教育研究会場

同二年、二名・露峰合同家庭教育学級開催

同五年、働く親のための学級開催

同六年、三世代ふれあい教室開催

同九年、交流保育実施

保育園・幼稚園沿革

露峰へき地保育所／父二峰幼稚園

年 度	在 籍 数			教員 職数	園 長	管 理 者
	男	女	計			
平成元年	7	9	16	2	土居 明生	河野 修
2年	9	7	16	2	〃	〃
3年	9	5	14	2	東 富士雄	〃
4年	14	7	21	2	〃	〃
5年	14	7	21	2	〃	〃
6年	9	12	21	2	松田 勝盛	〃
7年	4	9	13	2	橋田 雄二	〃
8年	4	12	16	2	〃	〃
9年	8	7	15	2	大西 淳弘	〃
10年	9	8	17	2	〃	〃
11年	7	4	11	2	〃	玉水 寿清
12年	4	5	9	2	〃	〃
13年	5	3	8	2	三好 壮一	〃
父 二 峰 幼 稚 園						
14年	4	3	7	2	三好 壮一	玉水 寿清
15年	6	2	8	2	〃	〃

同二〇年、父二峰・二名保・小・中合同運動会実施。久万町幼児教育研究会場

同二二年、集合保育年間一四回実施

同二三年、集合保育年間一七回実施。夏季保育開始

同二四年、父二峰幼稚園として発足する。新園舎にて入園式を行う

園舎新築工事。大建設計工務、二神組施行、工期一三年七月二四日から一四年三月二九日。木造、一部RC造り平屋建て（地元産檜柱五九三本、杉二四本、小学校と合わせて）。事業費・設計監理、二一五万四千円、園舎工事費、六一七三万円、事務費、一二万円、合計六、四〇〇万

四千元

同一五年、親子お月見会。毎月集合保育実施する（年間二五回）

二名保育所

平成元年、ふれあい保育実施

同二年八月、御用木まつり参加

同三年六月、海洋センタープール開き参加

同四年一〇月、保育室サッシ取り付

同五年六月、働く親のための学級開講。年間七回実施

同六年六月、ささゆり荘でのふれあい餅つきに参加

同七年七月、久万町幼児教育研究会を開催

同八年四月、こいのぼり棒立て替える。一月、廊下にサッシを取り

付ける

同九年三月、サッシ取り付け作業及び玄関の屋根塗り替え

同一〇年八月、グローブジャングル廃棄

同一一年一月、トランポリン購入（少子化対策事業）

同一二年六月、親子木工教室開催

同一三年夏休み、夏季保育実施

同一四年六月、親子リトミック開催

同一五年一〇月、集合保育を主題に久万町幼児教育研究会を開催する

同一六年三月三十一日、園児減少に閉園する

明神小学校

平成元年五月二〇日、二宮尊徳像下石組工事完了する

同年六月一九日、体育館裏坂道の舗装を行った

同年一〇月三日、郡教育研究会（体育科会場校）を実施した

同二年八月二三日、飼育舎完成する

同二年一〇月二九日、文部省指定奉仕等体験学習推進校公開発表会を

行う

同三年五月一日、県社会福祉協議会よりボランティア活動推進協力校

の指定を受ける。三ヶ年の研究を行う

同三年一〇月二七日、日本赤十字愛媛県支部より表彰を受ける

同四年二月二〇日、日本防火協会より表彰を受ける

同四年三月三〇日、久万町教育委員会より表彰を受ける

保育園・幼稚園沿革

二名保育所

年 度	在 籍 数			教員 職数	園 長	管 理 者
	男	女	計			
平成元年	1	3	4	1	三好 武親	河野 修
2年	3	3	6	1	〃	〃
3年	4	2	6	1	〃	〃
4年	5	1	6	1	野間 吉雄	〃
5年	4	0	4	1	〃	〃
6年	7	2	9	1	〃	〃
7年	4	2	6	1	西原 昭紀	〃
8年	5	2	7	1	〃	〃
9年	2	3	5	1	〃	〃
10年	4	3	7	1	松原 成子	〃
11年	2	3	5	1	〃	玉水 寿清
12年	3	0	3	1	〃	〃
13年	1	1	2	1	〃	〃
14年	2	1	3	1	渡部美知子	〃
15年	1	2	3	1	〃	〃

小・中学校学級編成沿革

明神小学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学 級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	28	30	58	10	6	西田 友三	河野 修
2年	25	33	58	10	6	〃	〃
3年	22	28	50	8	5	宇都宮秀雄	〃
4年	27	30	57	8	5	〃	〃
5年	27	28	55	9	5	宮内 正夫	〃
6年	31	30	61	10	6	〃	〃
7年	35	35	70	10	6	〃	〃
8年	37	35	72	10	6	矢野 肇	〃
9年	34	28	62	10	6	〃	〃
10年	28	24	52	10	6	〃	〃
11年	26	21	47	10	6	武智 省三	玉水 寿清
12年	23	19	42	8	5	木下 敬幸	〃
13年	21	16	37	8	5	〃	〃
14年	18	19	37	8	5	乃万 泰志	〃
15年	18	18	36	8	5	〃	〃

同四年九月二〇日、学校週五日制が実施される
 同六年七月八日、新校舎建築に伴い、南校舎とのお別れ会を実施した。
 同年八月二二日、取り壊しを開始し、九月七日起工式を行った。同七年
 四月一五日、木造新校舎の落成を見た。日総建大阪事務所、五六六万五
 千円、熊谷組施行、二億二、九六九万七千円、旧施設改修八六五万八千
 円、備品購入五九九万一千円、その他合計、二億五、五八四万七千円
 同七年一〇月二二日、二宮金次郎像、校訓碑、時計台の除幕式を行った

同七年一月二六日、学校安全教育文部大臣賞を受賞した
 同八年一月二三日、郡教科等研究会（体育科）会場校となり、その
 成果を発表した

同一年一〇月二六日、郡算数科研究会会場校の指定を受け発表した
 同一年一月六日、第四五回才能開発実践教育賞を受賞する
 同一年三月一二日、みどりの募金交付事業により、ドウゲンツツジ
 等を植樹する

同一年四月一二日、日本学校歯科医師会より、文部科学省委託平成
 一三年および一四年度・国の健康づくり推進校の指定を受ける

同一年五月、学校田で田植えから刈り取りまでの体験学習を行う。もち
 つき大会、門松作り。環境教育（しいたけ植え・五、六年生）

久万小学校

平成元年五月、PTA交通安全の感謝状を県警・県交通安全協会より受
 賞する

同二年三月二二日、横谷分校閉校。閉校記念碑建立する

同二年五月、全国木工作品コンクールにて、四年 日野和紀が日本放
 送協会会長賞を受賞する

同五年五月、PTA広報紙コンクール県手作りの部優秀賞を受賞する

同三年六月、新旧校歌額三幅卒業生より贈呈される

同三年六月、久万小学校、第三二回愛媛地方安全会議より受賞する

同三年一月、PTA会長、全国PTA表彰受賞する

同三年一月、久万小PTA、充実した組織活動により県教育長・県
 PTA会長より表彰される

- 同四年三月、北校舎二階への昇降機設置する
- 同四年四月、生活科園整備する
- 同五年六月、県警・県交通安全協会より優良PTA表彰を受賞する
- 同五年十一月、文部大臣より優良PTA表彰を受賞する
- 同六年二月、PTA広報紙コンクール県手作りの部優秀賞を受賞する
- 同六年三月、本館と体育館への通路を補修する
- 同六年五月、交通安全子ども母親自転車大会で郡優勝する
- 同七年二月、久万スキー場で第一回スキー教室を実施する
- 同七年四月、九年三月、文部省道徳教育推進校の指定を受ける
- 同七年七月、交通安全子ども母親自転車大会で郡優勝する
- 同八年三月、舞台幕新調する
- 同八年六月、警報器新設する
- 同九年六月、北校舎防球ネット新設する
- 同九年十一月、愛媛県学校保健優良校の表彰を受ける
- 同一〇年六月、交通安全子ども母親自転車大会で郡優勝する
- 同一〇年十一月、地教委・校長会合同訪問会場となる
- 同一〇年十一月、少年消防クラブ結成する
- 同一一年二月、スポットライト2台購入する（PTAより）
- 同一一年三月、理科室暗幕新調
- 同一一年六月、全国木工作品コンクール 五年 浦辻規幸、庄内森林管理署長賞受賞する
- 同一一年六月、交通安全子ども母親自転車大会で郡優勝する
- 同一一年七月、プール水循環浄水装置取替

小・中学校学級編成沿革

久万小学校

年 度	在 籍 数			教員数 教職数	学 級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	156	136	292	19	11	高岡 猛	河野 修
2年	151	133	284	20	11	森岡 春夫	〃
3年	152	125	277	21	11	〃	〃
4年	146	131	277	19	11	〃	〃
5年	139	131	270	20	11	猪上 達勇	〃
6年	147	131	278	18	10	〃	〃
7年	143	138	281	18	10	石丸 常	〃
8年	142	136	278	19	10	〃	〃
9年	133	138	271	18	11	〃	〃
10年	139	122	261	18	9・特殊1	松岡 廣	〃
11年	150	120	270	19	10・特殊1	〃	玉水 寿清
12年	137	114	251	19	9・特殊1	竹内英一郎	〃
13年	124	108	232	18	8・特殊2	〃	〃
14年	117	102	219	19	7・特殊2	竹内 重夫	〃
15年	114	112	226	19	7・特殊2	〃	〃

- 同一一年十一月、PTA会長全国PTA表彰を受賞する
- 同一一年十二月、北校舎洋式便器三ヶ所設置する
- 同一二年三月、二千年記念植樹をする
- 同一二年六月、交通安全子ども母親自転車大会郡優勝する
- 同一二年一〇月、地域別同和教育研究協議会、小学校部会の会場となり授業を公開する
- 同一二年十一月、緑の少年隊を結成する

同一年三月、プール外壁、トイレ等の改修をする(五二万円)
 同一年五月、インターネット対応パソコン購入(二五台)
 同一年七月、郡教科等(保健体育)の研究会場校となる
 同一年七月、金銭教育指定校訪問、公開授業、四松。薬物乱用防止教室(六年、久万警察署員)

畑野川小学校

平成二年五月二六日、中庭工事了。芝生を張る
 同一年八月、体育館床改装
 同一年八月、体育館屋根塗装
 同一年七月、給食温蔵庫設置、プール機械取付(取替)
 同一年二月一八日、畑野川の教育と人権を考える集会を開催。九月六日、校舎外壁塗装。一二月六日、飼育小屋を建設する
 同一年七月九日、幼年・少年消防クラブを結成する
 同一年八月、給食搬入庫増設
 同一年一〇月二日、緑の少年隊結成。一二月一六日、同隊により記念植樹をする(ドウダンつつじ、アジサイなど)

同一年一月一四日、松山管内大会第六郡研究発表会会場となる
 同一年四月一日、肢体不自由特殊学級を開設する。八月、愛媛大学児童文化研究会の学生四〇名と本校児童四四名によるサマースクールを開催する

直瀬小学校

平成元年五月、校舎新築のため、建築委員会が発足する。一二月設計図完成

小・中学校学級編成沿革

畑野川小学校

年 度	在 籍 数			教員数 教職数	学 級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	32	30	62	9	6	相原 秋男	河野 修
2年	26	32	58	10	6	竹井 史一	〃
3年	23	30	53	9	5	〃	〃
4年	22	26	48	8	5	〃	〃
5年	26	27	53	8	5	石丸 常	〃
6年	28	27	55	9	6	米田 孝弘	〃
7年	32	30	62	9	6	〃	〃
8年	37	25	62	9	6	上本 昌幸	〃
9年	32	22	54	10	6	〃	〃
10年	33	21	54	10	6	〃	〃
11年	30	22	52	9	6	竹内 重夫	玉水 寿清
12年	27	18	45	8	5	〃	〃
13年	21	17	38	8	5	〃	〃
14年	25	18	43	8	5	辻田 正明	〃
15年	25	19	44	10	6・特殊1	〃	〃

同一年八月、新校舎起工式

同一年四月、木造新校舎落成する。工事着工、平成二年八月一日、完成、三年三月三〇日、浪速設計、七七〇万円、熊谷組施行、本体工事費、三億一、七四九万円、周辺整備等、四五〇万円、備品購入、三〇三万円、事務費その他七三三万二千元、合計三億四、〇〇五万二千元。四月、県へき地研究の指定を受ける。四年三月、前庭完成し校名碑の除幕式を行う
 同一年一〇月、県へき地教育研究大会で授業等を公開する

小・中学校学級編成沿革

直瀬小学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学 級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	24	21	45	8	5	大野 順広	河野 修
2年	23	20	43	8	5	〃	〃
3年	20	22	42	8	5	菅田 顕	〃
4年	24	24	48	8	5	〃	〃
5年	23	23	46	8	5	〃	〃
6年	19	21	40	9	5	倉瀬 奨典	〃
7年	21	21	42	8	5	〃	〃
8年	22	25	47	8	5	〃	〃
9年	23	21	44	9	5	清田 和美	〃
10年	23	18	41	8	5	〃	〃
11年	24	18	42	8	5	〃	玉水 寿清
12年	24	17	41	8	5	森田 正子	〃
13年	22	18	40	8	5	〃	〃
14年	19	17	36	9	5・特殊1	〃	〃
15年	18	20	38	10	5・特殊1	〃	〃

同五年一〇月、開講一二〇周年記念航空写真を撮影。一〇月、給食温蔵庫を設置。十一月、開校一二〇周年記念行事を盛大に行う
 同七年六月、プール水浄化装置改修工事完了
 同八年九月、東トイレ通路延長工事完了。一〇月、全国へき地教育研究大会、分科会会場校として発表する
 同一〇年五月、プールフェンス工事完了。十一月、開校記念行事を収穫祭として実施する。一二年二月、緑の少年隊発団式、桜の木五六本植

樹する

同一年八月、愛媛県緑の少年団発表大会で優秀賞を受賞。十一月、運動会を地域と合同で実施。十一月、愛媛県発明工夫優良学校賞を受賞
 同一二年七月、緑の少年団全国表彰を受賞。八月、東トイレ水洗化となる

同一三年五月、複式学級学習講座会場校となる
 同一四年四月一日、特殊学級を設置する。一〇月、幼少関連指定訪問会場校となる。一五年二月、体育倉庫を新設する

同一五年五月、直瀬スプリングフェスティバル（造形会）。九日、不審者対応避難訓練

父二峰小学校

平成元年一二月、職員トイレを修理する。二年三月、久万町駅伝大会、小学女子の部優勝（全区間一位）

同二年八月、運動場フェンス修理。一〇月、町小学校陸上競技大会、郡小学校陸上競技大会女子の部優勝

同四年三月、通路夜間照明灯設置。焼却炉屋根改修する

同五年六月、複式教室黒板新設。七月、教室電灯改設

同六年六月、管内大会事前研究会開催。七月、久万町PTA研究大会
 場。七年二月、久万町生涯学習推進大会で発表する

同七年十一月、松山管内大会で環境教育について発表する

同八年十一月、トリム撤去。九年二月、郡理科主任会会場校

同九年四月、音楽室外壁修繕。十一月、郡理科・生活科・環境教育研究会の会場校となる。一二月、飼育小屋新築。一〇年三月、全国木工作

小・中学校学級編成沿革

父二峰小学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学 級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	22	19	41	9	5	土居 明生	河野 修
2年	20	21	41	9	5	〃	〃
3年	18	18	36	9	5	東 富士雄	〃
4年	19	20	39	8	5	〃	〃
5年	18	17	35	7	4	〃	〃
6年	20	18	38	9	5	松田 隆盛	〃
7年	21	17	38	9	5	橋田 雄二	〃
8年	22	14	36	9	5	〃	〃
9年	18	17	35	8	5	大西 淳弘	〃
10年	18	16	34	8	5	〃	〃
11年	18	18	36	8	5	〃	玉水 寿清
12年	17	18	35	8	5	〃	〃
13年	12	17	29	8	4・特殊1	三好 壮一	〃
14年	12	16	28	9	4・特殊1	〃	〃
15年	12	12	24	8	4・特殊1	〃	〃

品コンクールで農林水産大臣賞を受賞。六月、名古屋での受賞式に参加する

同一〇年九月、二名保・小、露峰保・父二峰小・中学校合同秋季大運動会を実施する（父二峰中学校閉校記念行事の一環として行う）

同一二年一〇月、郡教育研究会（道徳の部）の会場校となる

同一三年六月、父二峰中学校校舎の取り壊し。八月、新校舎起工式。一四年三月完工する

同一四年四月、木造校舎の落成を行い授業を開始する。大建建設、一、

三八四万六千円、二神組施行、本体工事、三億九、七二二万円、事務費、

三六万七千円、その他付帯工事費、三、二九七万円、合計四億四、四三〇万三千元

同一五年五月、二名小学校と統合準備会を重ね九月調印式を行う。七月、二名川水生生物調べを行う。一六年三月、プールトイレ水洗工事を完了する

二名小学校

平成元年六月、校舎屋根修繕する

同一二年八月、郡複式研究会場となる

同一四年一〇月、郡体育科研究会場校となる。一一月、二階全教室北側サッシ窓新設。五年一月、複式学級教室へパソコンを設置する

同一五年八月、校地全面水道工事実施。九月、給食用温蔵庫設置。六年三月、久万高原「緑のふるさと留学」制度発足する

同一六年七月、山村留学体験入学、親子キャンプ。九月、山村留學生一転入（高知県より）。七年二月、スキー教室実施。三月、校舎屋根改修

同一七年七月、山村留学体験、親子キャンプを実施。一〇月、郡国語科教育研究会場となる

同一八年七月、山村留学体験、親子キャンプを実施する。八月、プール機械室屋根改修。一二月、校舎屋根雪止め工事完了

同一〇年七月、トイレ水洗工事完了。一〇月、郡複式教育研究会場となる

小・中学校学級編成沿革

二名小学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	8	6	14	5	3	三好 武親	河野 修
2年	7	7	14	6	4	〃	〃
3年	4	9	13	5	3	〃	〃
4年	4	9	13	6	4	野間 吉雄	〃
5年	5	8	13	6	4	〃	〃
6年	5	8	13	6	4	〃	〃
7年	9	5	14	5	4	西原 昭紀	〃
8年	9	7	16	6	3	〃	〃
9年	12	6	18	7	4	〃	〃
10年	11	4	15	7	3	松原 成子	〃
11年	10	3	13	6	3	〃	玉水 寿清
12年	10	6	16	7	4	〃	〃
13年	8	6	14	6	3	〃	〃
14年	7	5	12	5	2	渡部美知子	〃
15年	5	4	9	6	3	〃	〃

(15.3.31 閉校)

同一一年七月、玄関サッシ新設。一二年三月、玄関屋根改修する

同一三年二月、正門前階段改修と通路渡り板を新設する。六月、体育館ステージ幕取替。プール機械修理。一二月、電気配線工事完了

同一四年五月、新コピー機搬入。七月、久万町水泳大会、百米リレーで優勝する。九月、パソコン二台設置。一〇月、父二峰小学校との交流遠足（松山市）を行う。一二月、国旗掲揚ポールのロープ取替。一五年一月、父二峰小との合同スキー教室実施。三月、運動場へアジサイ五〇本を植樹する。同、閉校に関する準備委員会を発足させる

同一五年七月、親子海水浴（五色浜）。一六年二月、閉校記念講演会（講師 松下文治氏）。三月二五日、閉校式を行う。一六年度から父二峰小学校へ統合となる。五四年間の幕を閉じた

久万中学校

平成三年、六月議会から中学校統合の研究が続けられる

同四年一二月、久万町議会に「学校統合特別委員会」が設置され、十数回にわたって地域住民の意見聴取や先進地視察を行い、町内各組織代表の意見を集約する

同六年三月、久万町議会で中学校統合を議決。七月、中学校統合検討委員会を設置。その後四回の検討委員会を開催し、推進方策等の検討を行う。七年二月、各地域・機関・団体から二六名の中学校統合推進委員会を構成し、四回の委員会審議を開催する

同七年一二月、中学校統合推進のための説明会を、全町で開催する。一二月、地域説明会開催状況を取りまとめ、統合委員会を開催する。八年二月、中学校校区别地域代表による、まとめの会を開催する。二月二六日、中学校統合合意に関する合同調印式を行う（久万中学校区七名、畑野川中学校区四名、直瀬中学校区五名、父二峰中学校区三名、中学校統合推進委員一七名、行政関係者四名）

同八年四月、統合中学校建築委員会発足。九年三月、統合中学校運営準備委員会発足。九年三月、校舎の設計まとまる

同九年五月、統合中学校建築協力会発足。九年八月一三日、校舎建築工事起工式（九・一〇年度の二ヶ年事業）一二月、中学校跡地利用検討委員会合同会の開催。一〇年一月、統合中学校校章及び校歌選定委員会

の開催

同一〇年七月二一日、屋内運動場建築工事起工式。一一年三月二二日、畑野川中学校・父二峰中学校開校式。二二日、久万中学校・直瀬中学校開校式。二七日、統合中学校校舎・屋内運動場落成式を挙げる。

校舎、屋内運動場・部室、設計監理は大建設工務、施工業者は大林組。校舎は木造、一部RC造二階建、普通教室八室、特別教室一五室、管理諸室七室、その他となっている。檜通し柱一〇四本、杉磨き丸太六四本、大断面集成材を使用した木造建築の粋を表

小・中学校学級編成沿革

久万中学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	99	100	199	16	6	富田 豊	河野 修
2年	93	101	194	17	6	〃	〃
3年	101	103	204	17	6	小倉 敦男	〃
4年	93	90	183	18	6	〃	〃
5年	90	87	177	19	6	三浦 哲生	〃
6年	89	83	172	17	6	〃	〃
7年	85	78	163	17	6	古田 隆	〃
8年	91	82	173	18	6	〃	〃
9年	93	75	168	18	6	大西 和章	〃
10年	87	86	173	18	6	〃	〃
町 内 中 学 校 統 合							
11年	122	122	244	20	8	大西 和章	玉水 寿清
12年	128	124	252	20	8	武智 省三	〃
13年	146	115	261	21	8	〃	〃
14年	151	116	267	22	8	〃	〃
15年	134	105	239	21	8	堀内 秀樹	〃

現している

設計監理委託料四、四六〇万円、校舎本体工事一三億一、三八六万二千円、計一三億五、八四六万二千円である。屋内運動場は木造一部二階建、設計監理委託料一、九四〇万円、屋内運動場工事五億八、七三五万四千元、計六億六七万四千元である

同一一年四月九日、統合中学校開校式並びに第一回入学式を挙げる。八月二〇日、第四七回日本PTA全国研究大会愛媛大会第四分科会場となる。一月二八日、NHKのど自慢会場となる

同一二年一〇月、地区別同和教育研究大会場

同一三年一〇月、第三五回愛媛県教育研究大会松山管内大会場となる

同一五年七月、県教育委員会教育課程指定校訪問(数学科の焦点授業)

一〇月、同(理科の焦点授業)

畑野川中学校

平成元年一〇月、第一養護学校と交流学習。緑の少年隊、社団法人国土緑化推進機構より努力賞を受賞。一月、テニス女子五年連続優勝で特別表彰

同一二年八月、高浜中学校とのリーダー研修会(一八名来校)。一〇月、

郡道徳研究会場。一月、久万高原ロードレース、駅伝男子の部優勝

同三年五月、交通安全で知事表彰受賞。七月、町PTA研究会場。一

一月、県防災ポスターコンクール優秀賞受賞

同四年七月、福岡県岡垣町国内留学小中学生との交流キャンプ。海外少年の船、ゲーム鳥二名参加。九月、第一養護学校との交流学習(運動会に参加する)

小・中学校学級編成沿革

畑野川中学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	19	18	37	10	3	山崎 正	河野 修
2年	22	16	38	10	3	〃	〃
3年	20	13	33	10	3	藤田 典生	〃
4年	18	17	35	10	3	〃	〃
5年	14	16	30	10	3	〃	〃
6年	8	18	26	10	3	浅川 愛明	〃
7年	11	13	24	10	3	〃	〃
8年	11	16	27	10	3	島津 洋	〃
9年	14	12	26	10	3	〃	〃
10年	11	14	25	11	3	〃	〃
11年	\						
12年							
13年							
14年							
15年							

同五年六月、郡総合体育大会、軽庭男女団体優勝。一〇月、りんご文字入れ作業。一二月、ふるさと教室（注連縄づくり）

同六年八月、まんまる木星探検隊、北海道九瀬布町一名参加。一二月、少年消防クラブが独居老人宅訪問

同七年八月、緑の少年団活動発表大会で優秀賞を受賞（県大会）

同八年三月、野生生物保護により、日本鳥類保護連盟より表彰。八月、PTA保健愛護部「親子ふれ合い活動」を御三戸河原で実施

同九年七月、ふるさとクリンデーで、下畑野川地区のガードレール

磨き。八月、少年の森体験学習、二年生九名参加

同一年四月、山菜定期便を第一養護学校へ贈る（二十数年続く）。

一一年三月二一日、閉校記念式典を挙行。五二年間の歴史に幕を閉じる

直瀬中学校

平成元年七月、建設省四国地方建設局より、長年の気象観測協力につき受賞。一一月、久万町交通安全教育地域推進事業直瀬地区発表会会場

同二年八月、久万町PTA研究大会で優良PTAとして受賞

同三年二月、第二回学級歌コンクールで三年生クラス最優秀賞受賞

同三年一二月、本館・特別教室屋根葺き替え

同四年九月、体育館屋根吹き付け。一〇月、県へき地教育研究大会場となる。五年三月、梅三五本、桜二七本植樹

同五年六月、ライオンズクラブ善行賞（団体）受賞。七月、久万町PTA研究会場

同六年七月、少年自然の家（大三島）。七年三月、リンゴ、スモモ、ナシ各三本、桜九本、梅一一本植樹する。文部省教育研究グループ奨励事業教育研究報告

同八年五月、ふるさと学習交流事業（垣生中）。九年二月、開校五〇周年記念行事

同九年七月、久万町PTA研究大会場。少年自然の家利用（津島）一〇月、郡教科等研究会場（学校保健）

同一年七月、大洲青年の家宿泊体験学習。七月、県総体バドミントン部三位入賞する。一一年三月二二日、閉校式を行う

同一年七月、大洲青年の家宿泊体験学習。七月、県総体バドミントン部三位入賞する。一一年三月二二日、閉校式を行う

小・中学校学級編成沿革

直瀬中学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	10	11	21	8	3	大野 隆則	河野 修
2年	12	11	23	9	3	〃	〃
3年	13	11	24	9	3	岡田 恒則	〃
4年	11	10	21	10	3	〃	〃
5年	10	12	22	9	3	〃	〃
6年	13	10	23	11	3	田中 康雄	〃
7年	14	10	24	10	3	鍵矢 正和	〃
8年	18	7	25	9	3	〃	〃
9年	12	11	23	9	3	八木 巖	〃
10年	14	13	27	9	3	〃	〃
11年	/						
12年							
13年							
14年							
15年							

父二峰中学校

平成元年五月、保護者と茶摘み。八月、体育館の屋根塗装。一〇月、炬火リレー参加

同二年五月、保護者との茶摘み（閉校まで続く）。七月、県中学校総体で卓球部団体優勝。十一月、日本PTA全国協議会長団体表彰を受ける

同三年六月、本校舎の配線改良工事完了。父二峰中学校少年消防クラブ結成する。八月、校舎壁面工事完了。普通教室暗幕取付。四年一月、

小・中学校学級編成沿革

父二峰中学校

年 度	在 籍 数			教員 職数	学級 数	校 長	管 理 者
	男	女	計				
平成元年	24	14	38	10	3	猪野 昭二	河野 修
2年	20	9	29	10	3	〃	〃
3年	20	13	33	11	3	〃	〃
4年	15	9	24	10	3	三好 武親	〃
5年	18	15	33	10	3	〃	〃
6年	10	11	21	10	3	葛原 章三	〃
7年	14	17	31	10	3	〃	〃
8年	10	14	24	10	3	保手浜勝彦	〃
9年	11	16	27	10	3	〃	〃
10年	9	11	20	7	3	〃	〃
11年	/						
12年							
13年							
14年							
15年							

パソコン六台導入

同四年一〇月、郡中学校国語科研究会場。普通教室北側窓サッシに改修。一二月、体育館横の池改修

同五年四月、グラウンドピアノ購入。五月、職員室改装工事完了。七月、郡英語科研究会場。一二月、学校林枝打ちをする

同六年六月、プール浄化装置取替。九月、愛媛新聞で父二峰中学校が紹介される。七年三月、理振による備品整理する

同七年三月、一〇年連続郡大会で優勝した卓球部が教育長特別表彰を

受ける。九月、南海放送TV取材する

同八年八月、サマーキャンプ（松山市野外活動センター）を実施。一

月、創立五〇周年記念式典を挙げる

同九年四月、トイレ仕切工事。一〇月、へき地優良校として県教育長

賞を受賞。一〇年二月、地域文化を生かした学校づくりで県知事賞を受賞する

同一〇年八月、大三島少年自然の家。九月、閉校記念合同運動会を行

う。一一年三月二一日、閉校記念式典を挙げる

五 平成の上浮穴高等学校

平成元年三月、プール竣工

同二年一月二四日、創立五〇周年記念式典。教育目標の碑（石造り）

一基記念事業期成会より寄贈

同三年一二月、平成四年度募集定員普通科四五名、林業科四〇名となる

同七年一月、温室竣工。旧温室取壊し。一二月、平成八年度募集定員普通科四〇名、林業科四〇名となる

同一〇年二月、数値制御木材工作機（NSルータ）設置

同一二年二月、体育館全面改修工事竣工。九月、屋上大規模改修（防水）工事竣工。一二月九日、創立六〇周年記念式典。校旗、太鼓二面、

藤見園、記念事業期成会より寄贈

同一四年四月、学科改編により林業科が森林環境科となる。一〇月、本館耐震工事竣工

同二六年三月、間伐材加工装置設置

卒業生徒数

年 度	林業科	普通科	学 校 長
平成元年	9	82	渡部 二郎
2年	23	83	矢野 雅也
3年	23	65	〃
4年	18	80	近藤 雅美
5年	15	57	〃
6年	23	41	〃
7年	27	43	善家 理公
8年	18	39	〃
9年	16	32	安永 健二
10年	23	35	〃
11年	20	27	〃
12年	18	36	石原 直満
13年	17	30	〃
14年	23	23	日野 義治
15年	23	37	〃

第二章 社会教育

一、二は増補改訂版参照

三 平成の社会教育

高齢化時代を迎え、きわめて多くの人が長い人生を生きるようになってきた。人生のどの時期にもその時々が発達課題があり、人生はその課題をいかにこなしていくかの連続と見ることができる。そこには「生涯発達」の観点が貫かれている。人はまた、自分の関心のあるテーマをもって学ぶが、今日的課題として、誰もが避けて通れないものがある。家庭・地域・人権・環境・文化といったものがそれである。ここでは、学校教育以外を「社会教育」として取り組むことにする。

○ 基本方針

(一) 「学びの共同体（コミュニティ）」づくりとして行う。

家庭も学校も地域も学びの共同体となり、それぞれがネットワークされるようなものでありたい。人と人との関わり合いがキーワードである。

(二) 行政主導でなく、住民が主役であることをめざす。

行政主導の「教化」でなく、住民主役の「学習」に高めたい。

(三) 楽しくするために、元氣の出るものにしていく。

学び、取り組むことがよく分かり、出来はじめ、おもしろくなり、継続してやっていけるようにする。そして、仲間の輪が広がるように

する。

四 発達課題の似通った人の集まりである諸団体の自主的活動の支援

青年団、婦人会、壮年会、老人会等の自主運営を物的的に支援し、一人一人の生きがいづくりと共同体の発展に成果を期待したい。

(五) 既存の組織を大切にすると共に、新しい組織の旗揚げを積極的に進める。

青少年育成や文化・スポーツのクラブ等の活動を支援すると共に、新しい学習サークルの誕生を歓迎する。

(六) 学習することが町づくりの行動につながることを展望して取り組む。

町づくりボランティアの育成を図りたい。

○ 重点目標

(一) 学習機会の充実（量的・質的）

(二) 媒介となる材料のある学習、対話のある学習、成果が表現できる学習

(三) 人（リーダー）が育ち、共同体（コミュニティ）が活性化される学習

(四) 学習が行動に移せるような活動の推進

(五) 読書活動の推進

(六) 広報・広聴活動の充実

(七) 行政職員の研修の充実

(八) 町村合併を前にして、中長期計画の樹立

○ 重点施策

(一) 出前講座の実施と充実（ハード面・ソフト面）

- (二) 町内の諸団体のネットワーク化と町外団体との交流の促進
- (三) 環境学習の充実と環境保護運動の展開
- (四) ボランティアグループの育成と支援
- (五) 各界各層の読書会の結成
- (六) 「生涯学習の町づくり」のイメージトレーニング
- (七) 生涯学習推進構想と組織の再検討

1 公民館

ア 久万町民館

久万町民館は、昭和四八年一〇月二七日、過疎地域集落整備事業（自治省所管）の一環として落成。同月三〇日には町民館モデル結婚式（山本寛治夫妻）を行うなどして、久万町のコミュニティセンターとしてスタートした。

教育文化の普及、産業の再開発、生活改善推進、保健・福祉増進、情報連絡等を目指して、町勢の発展のため活用されている。

現在、教育委員会事務局と下記の諸施設を備え、学校教育と社会教育及びコミュニティ造りの拠点としてフル回転している。

久万町民館利用状況

年 度	項 目 回数 人数	ホール		研修室		小会議室		1・2和室		結婚式場		和室会議室		老人室		調理室		合 計
		利用区分	集會典 式映演 講演會	利用区分	技術研 種講座 講義會	利用区分	技術研 種講座 講義會 小住民 相談	利用区分	結 婚 式 控 室 等	利用区分	結 婚 式	利用区分	會 議 研 修	利用区分	休 憩 小 會 樂 議	利用区分	調理実習	
12	回数	128	233	68	47	0	224	112	25	837								
	人数	6,589	3,627	635	401	0	3,869	2,204	584	17,809								
13	回数	164	225	69	57	0	224	132	21	892								
	人数	6,235	3,145	538	336	0	3,201	2,160	473	16,088								
14	回数	184	224	67	52	0	178	126	21	852								
	人数	5,847	2,803	587	660	0	3,117	2,231	340	15,475								
15 (15年 1月末)	回数	136	202	50	59	0	171	113	24	755								
	人数	5,033	2,452	478	421	0	2,647	1,973	254	13,258								

イ 中央公民館

中央公民館歴代館長・事務長

館長名	就任	事務長名 (副館長)	就任
日野嘉彦	S五四・四	岡田隆綱	S六三・四
玉水寿清	H四・四	大野寛十郎	H四・四
		山本進	〃五・四
		岩城岩夫	〃六・四
		山本進	〃九・四
古田隆	H一一・四	橋本広綱	〃一六・四
西田友三	〃一五・七		

中央公民館連絡協会長(久万町代表館長)

会長名	就任	会長名	就任
神西伊佐男	S六三・四	宮城昭幸	H九・四
松本鶴三	H三・四	岡田隆綱	〃一一・四
田坂正数	〃四・四	西本隆雄	〃一二・四
中岡登	〃七・四	高岡幸友	〃一四・四

社会教育委員(中央公民館運営審議会委員)(平成一四年度)

委員種別	氏名	住所	役職名
学 校 長	日野義治	上野尻	上浮穴高等学校長
〃	武智省三	東明神	久万中学校長
〃	竹内重夫	久万町	久万小学校長
団 体 長	小川龍彦	直 瀬	久万町青年団長
〃	田村昭子	久万町	久万町婦人会長
〃	菅 洋志	久万町	久万町PTA連絡協議会長
〃	市川 享	久万町	久万町壮年会長
〃	曾我定之	直 瀬	久万町老人クラブ連合会長
〃	岡田愛三	久万町	久万町体育協会长
〃	高岡明彦	久万町	久万町商工会長
学 識 経 験 者	大野盛隆	直 瀬	久万町議会議長
〃	滝野志	上野尻	町議会厚生文教常任委員長
〃	川崎清規	入 野	久万町文化財保護委員長
〃	田坂正教	久万町	郡公民館連絡協議会長
〃	西田満文	露 峰	久万町体育指導委員長

ウ 地域公民館

明神公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
石丸政利	S六一・四	中田均	S六三・四
窪田正雄	H八・四	大野福美	H元・四
岡田隆綱	〃一〇・四	鈴木正登	〃二・四
		加藤博副	〃六・四
		佐藤理昭	〃一〇・四

久万公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
目戸猛応	S六一・四	石丸健一	S五九・四
大野博途	H元・四	大嶋洋一	H元・四
田坂正教	〃四・四	橋本広綱	〃二・四
		三浦丞治	〃五・四
		森博	〃六・四
		浮田幸路	〃一・四
		並松真弓	〃二・四

野尻公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
東恒雄	S六三・四	今村正子	S六一・四
西岡茂	H八・四	菅重雄	H六・四
秋元宏	〃二・四	今村正子	〃二・四

上畑野川公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
八塚正高	S六三・四	木下公明	S六三・四
山内英雄	H三・四	秋岡健伍	H三・四
石田佐々雄	H四・四	上原淳二	〃四・四
篠崎克己	〃七・四	藤原浩光	〃六・四
八塚悦次	〃八・四	西山建二	〃八・四
石田多美雄	〃一〇・四	木下勝也	〃一〇・四
渡部盛勝	〃一二・四	木下公明	〃一二・四
山内司郎	〃一四・四		

下畑野川公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
宮西石男	S六三・四	土居道弘	S六三・四
武市強	H四・四	日野文博	H三・四
徳田知重	〃六・四		
宮城昭幸	〃八・四	大野和也	〃七・四
渡部恒行	〃一〇・四	佐伯泰	〃一〇・四
横川功	〃一二・四		
浅井一郎治	〃一四・四	岡誠也	〃一四・四

上直瀬公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
高岡文雄	S五九・四	大野寛十郎	S五九・四
大野伊平	H二・四	岩城岩夫	H二・四
大野玉雄	〃六・四	大野良博	〃四・四
岩城岩夫	〃一〇・四		
高岡幸友	〃一四・四	高岡幸友	〃一・四
		大野千代利	〃一四・四

下直瀬公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
松本鶴三	S五九・四	菅住夫	S六一・四
山内茂一	H四・四	光田義文	H二・四
		団ノ上 哮	〃四・四
		菅光男	〃六・四
		菅文四郎	〃七・四
		松本隆則	〃八・四
		菅俊三	〃八・四
		菅隆則	〃一二・四
		菅上 哮	〃一二・四

落合公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
三輪田輝光	S五九・四	西田満文	S五九・四
坂本懸一	H元・四	菅住夫	H元・四
		岡部史夫	〃二・四
		松岡功	〃四・四
		山本進	〃七・四
		榊井則	〃八・四
		西本隆雄	〃一一・四
		久万川 慈	〃一二・四
		三輪田重信	〃一四・四

露峰公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
古田安功	S六三・四	白石敏夫	S六三・四
中岡登	H二・四	大野昭彦	H三・四
中野徹彦	〃一二・四	光石功	〃八・四
		鈴木秀明	〃一二・四
		山中泰文	〃一四・四

父野川公民館歴代館長・事務長

館長名	就任	事務長名 (副館長)	就任
佐伯幸男	S六三・四	脇田富弘	S六三・四
高岡照	H四・四	亀岡清一	H四・四
上岡保	〃七・四	松岡勝廣	〃七・四
佐伯幸男	〃八・四	宮崎武志	〃八・四
片岡重雄	〃一二・四	福積安雄	〃一二・四

二名公民館歴代館長・主事一覽表

館長名	就任	主事名	就任
神西伊佐男	S六一・四	中村拾六志	S六一・四
西山潔	H二・四	青木俊和	H二・四
中田健一	〃八・四	中田俊一郎	〃四・四
松下敏幸	〃一二・四	岩口敏弘	〃八・四
		平戸実	〃一二・四
		土居勝幸	〃一四・四

2 青少年教育

久万町青年団

年度	役員	副	團長	事務局長
平成 元年	土居 憲二	大野 正博	青木加寿美	成本 靖子
二	〃	〃	三浦真智子	渡部 定明
三	西岡 浩之	大野 晃	武智 由香	〃
四	〃	上岡 浩司	長山みどり	三浦 丞治
五	大野 功人	大野 晃	吉田 笑子	〃
六	日野 充裕	正岡 俊彦	井上 恭子	水谷 文昭
七	水谷 文昭	岡田 寿	坂本あゆみ	大平美津雄
八	岡田 寿	石丸 雄治	〃	片岡 伸彦
九	石丸 雄治	和田 有治	日野 知美	〃
一〇	和田 有治	和井 憲政	丸山 由紀	渡部 和孝
一一	渡部 和孝	窪田 恵子	菅 雄介	窪田 成志
一二	窪田 成志	中田 紀子	小川 秀隆	小倉 佳昌
一三	菅 壮一郎	小倉 佳昌	川崎 美佳	谷本 茜
一四	小川 龍彦	坪谷 頼都	小倉 佳昌	伊藤 敦志
一五	猪羽 由秀	菅 雄介	伊藤 敦志	坪谷 頼都
		岡 誠也		

3 婦人教育（婦人会）

久万町婦人会会長・副会長一覽表

年度	平成元年	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五
会長氏名	玉水 繁子	〃	〃	竹井 充子	〃	〃	〃	長山フミ子	〃	〃	〃	〃	〃	田村 昭子	〃
所属支部	父野川	〃	〃	久万町	〃	〃	〃	直瀬	〃	〃	〃	〃	〃	久万町	〃
副会長氏名	岡 勝子 染次 操子	〃	〃	長山フミ子 佐々木麗子	〃	〃	〃	宇都宮悦子 大野 一美	〃	〃	宇都宮悦子 平戸 千明	〃	宇都宮悦子 川崎美代子	〃	〃
所属支部	直瀬 久万町	〃	〃	直瀬 露峰	〃	〃	〃	上野尻 露峰	〃	〃	上野尻 二名	〃	上野尻 露峰	〃	〃
事務局長名	宇都宮悦子	〃	〃	〃	〃	〃	〃	田村 昭子	〃	〃	〃	〃	菅 ミツエ	〃	宇都宮悦子
所属支部	上野尻	〃	〃	〃	〃	〃	〃	入野	〃	〃	〃	〃	下直瀬	〃	上野尻

久万町壮年会役員名簿

年度	役職名	本 会	明神分会	久万分会	畑野川分会	直瀬分会	父二峰分会	野尻分会
昭和三十四年度 平成三十三年度	会 長	大野 隆則	和田 勝一	高橋 卓良	大西 武志	菅 高夫	神西伊佐男	
	副 会 長	橋本 猛 染次 集 渡部 昭一	重藤 治 桑原 義光	西岡 茂 石本 博一	西山 保 大野 頼久	菅 重雄 香川 朝光	山之内 保 恩地 繁	
	事務局長	大北 利朗	大下 保	市川 享	宮城 昭幸	大野 護	河野 勝利	
二・三年度	会 長	大野 隆則	重藤 治	高橋 卓良	西山 保	菅 重雄	神西伊佐男	
	副 会 長	橋本 猛 染次 集 渡部 昭一	露口 育夫 古田 邦博	石本 博一 市川 享	渡部 恒行 八塚 昭栄	香川 朝光 大野 康満	山之内 保 高岡 照	
	事務局長	大北 利朗	大下 保	西山 保	武市 敏	長曾我部博	河野 勝利	
四・五年度	会 長	大野 隆則	露口 靖	高橋 卓良	西山 保	大野 玉雄	恩地 繁	
	副 会 長	渡部 昭一 染次 集 神西伊佐男	露口 育夫 古田 邦博	西岡 茂 石本 博一	八塚 昭栄	小椋 豊吉 長山喜久夫	高岡 照 速水 健一	
	事務局長	大北 利朗	大下 保	市川 享	宮城 昭幸	長山 敦志	河野 勝利	
六・七年度	会 長	菅 俊三	古田 邦博	石本 博一	八塚 昭栄	長山喜久夫	高岡 照	
	副 会 長	神西伊佐男 大西 武志 鈴木 知郎	西村 俊勝 窪田 正雄	西岡 茂 宇都宮秀雄	日野 朝雄 平岡 和美	菅 弘一 小椋 豊吉	速水 健一 久保 国弘	
	事務局長	高橋 卓良	大下 保	池田美智春	宇都宮隆祝	長曾我部博	白石 恭介	
八・九年度	会 長	市川 享	大下 保	石本 博一	八塚 昭栄	菅 弘一	速水 健一	
	副 会 長	神西伊佐男 西山 保 長山喜久夫	西村 俊勝 永井 将司	山本 一久 渡部 浩二	片岡 利昭 高岡 保	小椋 豊吉 中堀裕太郎	中野 徹彦 西本 隆雄	
	事務局長	高橋 卓良	西村 俊勝	山本 一久	片岡 利昭	中堀裕太郎	山之内 保	
一〇・一一年度	会 長	市川 享	西村 俊勝	山本 一久	片岡 利昭	中堀裕太郎	山之内 保	河野 忠康
	副 会 長	石本 博一 速水 健一 長山喜久夫	窪田 正雄 一松 匡介	山之内秀雄 渡部 浩二	石田 信男 日山 勝由	菅 弘一 大野 育夫	成本 弘 中野 徹彦	正岡 隆義 宇都宮秀雄
	事務局長	大下 保	石丸 且久	浮田 幸路	日野 清治	長曾我部博	河野 勝利	大野 正志
一二・一三・一四年度	会 長	市川 享	古田 邦博	山本 一久	高岡 保	大野 育夫	中田 健一	中里 史郎
	副 会 長	石本 博一 山之内 保 菅 弘一	菅原 伸一 石丸 且久	山之内秀雄 渡部 浩二	日山 勝由 八塚 範彦	中越裕太郎 高岡 安	光石 功 古川 祐二	梶川 二郎 山本 安雄
	事務局長	大下 保	竹内 利幸	浮田 幸路	片岡 利昭	長曾我部博	河野 勝利	大野 正志

単位PTA会長名一覧表

PTA名	一、二年度		一、三年度		一、四年度	
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
明神幼PTA	山之元 初枝	大平 真美	石丸 尚子			
久万幼PTA	染次 章治	染次 章治	宇都宮 浩			
畑野川幼PTA	小倉 明二	大崎 政志	大南 明司			
直瀬幼PTA	藤田 美寿穂	大野 幸子	石丸 みゆき			
露峰保PTA	菅能 真吾	恩地 義浩	久保 陽生			
二名保PTA	友井 利幸	中田 孝治	上本 孝一			
明神小PTA	加藤 博副	加藤 博副	正岡 知司			
久万小PTA	大野 かおり	大北 敬朗	大北 敬朗			
畑野川小PTA	上岡 淳二	大野 和也	大野 和也			
直瀬小PTA	菅里 志	光田 泰次	大野 秋義			
父二峰小PTA	久保 光広	丸山 孝	西野 繁			
二名小PTA	窪田 正市	窪田 正市	坂本 英二			
久万中PTA	田中 茂	菅洋 志	菅洋 志			

7 文化協会

久万町文化協会役員名簿(平成二五・一六年)

職名	氏名	住所	備考
会長	高岡 文雄	直瀬	
副会長	谷口伊三夫 二名		
〃	篠原 豊	久万町	
〃	尾形 冴子	東明神	
〃	秋本 強	上野尻	
監事	山之内 保	露峰	
顧問	玉水 寿清		
〃	西田 友三		
〃	中岡 登	露峰	
事務局	猪羽 由秀		
〃	岡 誠也		
教育委員会			
教育委員会			
教育委員会			

部門	氏名	住所	部門	氏名	住所
万歳	徳田 知重	下畑野川	華道	田中 満江	上野尻
舞踊	菅 敦子	久万町	茶道	相原美代子	久万町
吟詠	石本 和弘	大野	獅子舞	今井 繁知	下畑野川
民謡	川本 洋子	露峰	写真	石本 博一	菅生
読書	佐藤トシ子	久万町	真曲	新崎 尚子	東明神
歌舞伎	段ノ上 喙	直瀬	将棋	高橋 卓良	久万町
美術	伊東 一朗	久万町	碁碁	黒田 伸夫	上野尻
短歌	大堀 静	菅生	大正琴	宇都宮悦子	〃
俳句	小倉 宗清	西明神	太鼓	佐藤 豊	〃
郷土研究	渡部 昭一	上畑野川	山草会	大野 睦郎	〃
カルタ	秋本 強	上野尻	手芸	岡田須美江	上野尻
劇団	真木 輝彦	久万町	剣舞	段ノ上嶋江	直瀬
書道	山之内 保	露峰	俳画	土居 信子	久万町
コーラス			三味線		
休會			休會		

平成一五年度 久万町文化協会事業報告

月 日	曜日	事業名	場 所	備考
四月二七日	日	みどりの日記念山草展	物産館みどり	
六月二三日	金	文化協会理事会(第一回)	久万町民館	
七月一六日	水	文化協会町外研修	新居浜市	
七月二五日	金	七夕競書会	久万町	
七月二七日	日	五神太鼓二〇周年記念公演	産業文化会館	
七月二九日	火	文化協会臨時総会	久万町民館	
八月八・九日	金・土	久万町納涼まつり	商店街やまなみ	
八月一九日	火	久万町俳句ポスト表彰	教育委員会	
九月一七日	水	文化協会理事会(第二回)	久万町民館	
九月二八日	日	伊予民踊発表会	産業文化会館	
一〇月一〇日	金	久万町大正琴発表会	露峰公民館	
一〇月一八・一九日	土・日	久万町文化祭	久万海洋センター	
一〇月三二日	金	久万町俳句大会	ふるさと旅行村	
一一月一八日	火	久万町吟詠剣詩舞発表会	明神公民館	
一一月二六日	水	久万町舞踊発表会	二名公民館	
一一月三〇日	日	上浮穴郡吟詠剣詩舞発表会	柳谷村 こかげ	
一二月一四日	日	久万町芸能発表会	産業文化会館	
一月一〇日	土	新春カルタ大会	久万町民館	
一月二二日	月	夢の会チャリティーショー	産業文化会館	
一月二八日	日	新春囲碁・将棋大会	久万町民館	
三月二日	火	文化協会理事会(第三回)	久万町民館	
三月		文化協会顕彰推薦委員会	久万町民館	
四月		文化協会総会	久万町民館	

平成15年度 文化協会決算書

歳入総額 659,242円
 歳出総額 336,608円
 次年度繰越 322,634円 30周年記念事業積立 30万円

歳 入

(単位：円)

項 目	本年度 予 算	本年度 決 算	比 較		説 明
			増	減	
繰 越 金	312,199	312,199			平成15年度繰越金
補 助 金	200,000	200,000			社会教育団体補助金
会 費	130,000	103,600		26,400	会費一人200円×518人
雑 収 入	7,801	43,443	35,642		賛助金、預金利子等
合 計	650,000	659,242	9,242		

歳 出

(単位：円)

項 目	本年度 予 算	本年度 決 算	比 較		説 明
			増	減	
賃 金	10,000	0		10,000	
報 償 費	10,000	20,000	10,000		五神太鼓20周年記念大会寸志
旅 費	20,000	6,320		13,680	役員交通費等
需 用 費	150,000	93,358		56,642	消耗品費 73,868 食料費 13,285 印刷費 6,205
役 務 費	20,000	6,180		13,820	レタックス、ハガキクリーニング代
使用料及び賃借料	200,000	185,750		14,250	公民館使用料、産文使用料 バス借上料、タクシー代
負 担 金	25,000	25,000		0	県文化協会・七夕競書会負担金
予 備 費	215,000	0		215,000	
合 計	650,000	336,608		313,392	

8 同和教育

久万町同和教育協議会役員（任期平成二三年度総会～平成一五年度総会）

役職	氏名	所 属	備 考
会 長	玉水 寿清	久万町長	
副会長	古田 隆	久万町教育委員会教育長	
〃	高岡 幸友	久万町公民館連絡協議会長	
〃	森川 照雄	愛媛県同和对策協議会久万支部長	
監 事	高岡 明彦	久万町商工会長	
〃	山内 司郎	畑野川公民館長	
理 事	辻田 正明	久万町校長会長	畑野川小学校長
〃	日野 義治	上浮穴高等学校長	
〃	中岡 登	久万町社会福祉協議会長	
〃	高岡 和夫	久万町人権擁護委員会代表	
〃	菅 洋志	久万町PTA連絡協議会長	
〃	曾我 定之	久万町老人クラブ連合会長	
〃	市川 享	久万町壮年会長	
〃	田村 昭子	久万町婦人会長	
〃	小川 龍彦	久万町青年団長	
〃	森之本 武雄	運動団体代表	
〃	松下 日出夫	松山市農協久万高原支所代表	
〃	栗下 宗孝	久万広域森林組合代表	
〃	露口 育夫	上浮穴郡建設協会代表	
〃	白石 教二	四国電力(株)久万営業所長	
〃	宇都宮 基	学校教育部長	久万中学校

役職	氏名	所 属	備 考
理 事	水谷 亮一	社会教育部長	
〃	中岡 登	福祉部長	
〃	森永 進	行政部長	
〃	岡田 隆綱	明神地区運営委員会運営委員長	
〃	西田 友三	久万地区運営委員会運営委員長	
〃	浅井 一郎治	畑野川地区運営委員会運営委員長	
〃	高岡 幸友	直瀬地区運営委員会運営委員長	
〃	三輪田 重信	父二峰地区運営委員会運営委員長	
事務局長	山本 進	久万町教育委員会総務課長	
事務局員	菅 徹夫	久万町教育委員会担当者	
〃	近藤 正信	久万町立入野福祉館主事	
〃	河野 勝利	町民福祉課	

久万町体育協会歴代役員名簿

(昭和63年～平成元年)

役職名		年 度		昭和63～平成元年	2～3年	4～5年	6～7年	
		昭和63～平成元年	2～3年					
会 長				河野 修	河野 修	大野 章	大野 章	
副 会 長				大野 章 日野 嘉彦	大野 章 日野 嘉彦	矢野 計雄 佐伯 正俊 佐伯 誠一	佐伯 正俊 佐伯 誠一	
理 事 長				上岡 義幸	上岡 義幸	井上 徳義	井上 徳義	
事 務 局 長				佐伯 泰	佐伯 泰	浮田 幸路	大西 洋三 古田 章	
監 事				宮脇 弘 真木 孝志	宮脇 弘 真木 孝志	宮脇 弘 丸山 淳	丸山 淳 西村 俊勝	
顧 問						河野 修 上岡 義幸 玉水 寿清	河野 修 上岡 義幸 玉水 寿清	
理 事	学 歴 経 験 者				小田 絹子 関井 義弘 西森 勸	小田 絹子 関井 義弘 西森 勸	小田 絹子 関井 義弘 西森 勸	小田 絹子 関井 義弘 西森 勸
	野 球	協 会 長			上岡 義幸	上岡 義幸	上岡 義幸	岡田 愛三
		副協会長			河野 勝利	河野 勝利	河野 勝利	河野 勝利
	ソフトボール	協 会 長			丸山 淳	丸山 淳	古岡 守人	古岡 守人
		副協会長			中里 史郎	中里 史郎	山本 一久	山本 一久
	バレーボール	協 会 長			西田 満文	光田 健	光田 健	光田 健
		副協会長			光田 健	日野 修三	倉橋 克直	倉橋 克直
	テ ニ ス	協 会 長			佐伯 誠一	佐伯 誠一	小倉 澄夫	小倉 澄夫
		副協会長			小倉 澄夫	小倉 澄夫		※山内賢彦
	卓 球	協 会 長			安藤 正孝	安藤 正孝	玉井 経寿	玉井 経寿
		副協会長			近森 芳数	近森 芳数	近森 芳数	近森 芳数
	陸 上 競 技	協 会 長			坂本 好直	坂本 好直	坂本 好直	坂本 好直
		副協会長			西村 俊勝	日浦 貢	日浦 貢	日浦 貢
	サ ッ カ ー	協 会 長			山本 寛治	山本 寛治	山本 寛治	山本 寛治
		副協会長			加藤 博副	加藤 博副	加藤 博副	加藤 博副
	ス キ ー	協 会 長			富岡 久男	富岡 久男	富岡 久男	富岡 久男
		副協会長			西田 守	西田 守	西田 守	西田 守
	剣 道	協 会 長			矢野 計雄	矢野 計雄	矢野 計雄 佐伯 正俊	佐伯 正俊
		副協会長			宇都宮 茂	宇都宮 茂	宇都宮 茂	大野 勝義
	柔 道	協 会 長			木村 孟	木村 孟	渡部 裕二	渡部 裕二 山之内 章
副協会長				渡部 裕二	渡部 裕二	山之内 章	山之内 章 新岡 洋	
バドミントン	協 会 長			井上 徳義	井上 徳義	渡部 敏彦	渡部 敏彦	
	副協会長			渡部 敏彦	渡部 敏彦	井上 徳義	井上 徳義	
ゴ ル フ	協 会 長			大野 広之	渡部 登	東岡 信一	東岡 信一 河野 忠康	
	副協会長			高野 宗城	菅 洋志	菅 洋志	※日野修三	
スポーツ少年団				日野 嘉彦	日野 嘉彦	玉水 寿清	玉水 寿清	

※種目協会事務局長

久万町体育協会役員名簿 (平成八年四月一日〜一〇年三月二日)

役名	氏名	住所	役名	氏名	住所
会長	佐伯正俊	久万町	監事	西村俊勝	明神
副会長	佐伯誠一	久万町	顧問	富岡久男	久万町
理事	岡田愛三	菅生	顧問	河野修	野尻
事務局長	井上徳義	菅生	顧問	上岡義幸	久万町
事務局長	板崎鳴海	菅生	顧問	玉水清	父野川
会計	石村光四郎	菅生	顧問	大野章	久万町

理事

種目	協会	氏名	種目協会 会長	住所	氏名	副会長 (※事務局長)	住所
ソフトボール協会	古岡守人	久万町	山本一久	久万町			
バレーボール協会	光田健	直瀬	倉橋克直	久万町			
テニス協会	小倉澄夫	菅生	織川真二	下畑野川			
卓球協会	玉井経寿	露峰	大野文昭	露峰			
サッカー協会	山本寛治	野尻	加藤博副	東明神			
スキー協会	富岡久男	久万町	西田守	上野尻			
剣道協会	水谷宏之	久万町	大野勝義	上野尻			
柔道協会	山之内章	東明神	新岡洋	入野			
陸上競技協会	坂本好直	東明神	※窪田正雄	東明神			
バドミントン協会	渡部敏彦	下畑野川	井上徳義	菅生			
ゴルフ協会	河野忠康	上野尻	※日野修三	下畑野川			
スポーツ少年団	玉水寿清	父野川					

久万町体育協会役員名簿 (平成一〇年四月一日〜一二年三月二日)

役名	氏名	住所	役名	氏名	住所
会長	佐伯正俊	久万町	監事	西村俊勝	明神
副会長	佐伯誠一	久万町	顧問	富岡久男	久万町
理事	岡田愛三	菅生	顧問	河野修	野尻
事務局長	井上徳義	菅生	顧問	上岡義幸	久万町
事務局長	大西洋三	菅生	顧問	玉水清	父野川
会計	大西洋三	菅生	顧問	大野章	久万町

理事

種目	協会	氏名	種目協会 会長	住所	氏名	副会長 (※事務局長)	住所
ソフトボール協会	河野忠康	上野尻	山本一久	久万町			
バレーボール協会	日野修三	下畑野川	山内弘	久万町			
テニス協会	小倉澄夫	菅生	織川真二	下畑野川			
卓球協会	山之内保	露峰	近森芳数	久万町			
サッカー協会	加藤博副	東明神	和田雅志	東明神			
スキー協会	高野宗城	上野尻	和田信介	久万町			
剣道協会	水谷宏之	久万町	板崎和洋	上野尻			
柔道協会	山之内章	東明神	浮新幸洋	久万町			
陸上競技協会	坂本好直	東明神	日窪田正雄	久万町			
バドミントン協会	渡部敏彦	上野尻	井上徳義	菅生			
ゴルフ協会	高市彰隆	久万町	※伊藤芳文	菅生			
スポーツ少年団	古田隆	上野尻					

久万町体育協会役員名簿(平成二二年四月一日〜二四年三月三一日)

役名	氏名	住所	役名	氏名	住所
会長	佐伯正俊	久万町	監事	西村俊勝	明神
副会長	佐伯誠一	久万町	顧問	富岡久男	久万町
理事	岡田愛三	菅生	顧問	大野章	久万町
事務局長	井上徳義	菅生	顧問	上岡義幸	久万町
事務局長	大西洋三	畑野川	顧問	田中純二	久万町
会 計	大西洋三	畑野川	顧問	玉中清	久万町
会 計	大西洋三	畑野川	顧問	古田隆	久万町
会 計	大西洋三	畑野川	顧問	野父野川	久万町

理 事

種目	協会		種目協会		副会長(※事務局長)	
	氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
野 球 協 会	岡田愛三	久万町	中里史朗	上野尻	中里史朗	上野尻
ソフトボール協会	松岡廣	菅生	板崎登志文	直瀬	板崎登志文	直瀬
バレーボール協会	山内弘	久万町	日野優司	上野尻	日野優司	上野尻
テニス協会	小倉澄夫	菅生	織川真二	下畑野川	織川真二	下畑野川
卓球協会	岡田克己	久万町	窪田ひとみ	二名	窪田ひとみ	二名
サッカー協会	加藤博副	東明神	和田雅志	菅生	和田雅志	菅生
スキー協会	高野宗城	上野尻	田村信介	久万町	田村信介	久万町
剣道協会	水谷宏之	久万町	板崎鳴海	上野尻	板崎鳴海	上野尻
柔道協会	山之内章	東明神	新岡洋	入野	新岡洋	入野
陸上競技協会	坂本好直	菅生	日浦貢	菅生	日浦貢	菅生
バドミントン協会	渡部敏彦	上畑野川	井上徳義	菅生	井上徳義	菅生
ゴルフ協会	高市彰雄	上野尻	真木芳文	久万町	真木芳文	久万町
スポーツ少年団	古田隆	菅生	久万町	久万町	久万町	久万町

久万町体育協会役員名簿(平成二四年四月一日〜二六年三月三一日)

役名	氏名	住所	役名	氏名	住所
会長	岡田愛三	久万町	監事	山之内保露	露峰
副会長	佐伯誠一	久万町	顧問	大野章	久万町
理事	松岡廣	菅生	顧問	上岡義幸	久万町
事務局長	井上徳義	菅生	顧問	佐伯正俊	久万町
事務局長	山内賢彦	下畑野川	顧問	田中純二	久万町
会 計	山内賢彦	下畑野川	顧問	玉中清	久万町
監 事	富岡久男	久万町	顧問	古田隆	久万町
監 事	富岡久男	久万町	顧問	野父野川	久万町

理 事

種目	協会		種目協会		副会長(※事務局長)	
	氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
野 球 協 会	岡田愛三	久万町	中里史朗	上野尻	中里史朗	上野尻
ソフトボール協会	松岡廣	菅生	板崎登志文	直瀬	板崎登志文	直瀬
バレーボール協会	日野優司	上野尻	上本孝一	露峰	上本孝一	露峰
テニス協会	小倉澄夫	菅生	織川真二	下畑野川	織川真二	下畑野川
卓球協会	岡田克己	久万町	山之内保露	露峰	山之内保露	露峰
サッカー協会	加藤博副	東明神	和田雅志	菅生	和田雅志	菅生
スキー協会	高野宗城	上野尻	田村信介	久万町	田村信介	久万町
剣道協会	板崎鳴海	上野尻	佐伯和洋	久万町	佐伯和洋	久万町
柔道協会	山之内章	東明神	新岡洋	入野	新岡洋	入野
陸上競技協会	坂本好直	菅生	日浦貢	菅生	日浦貢	菅生
バドミントン協会	渡部敏彦	上畑野川	井上徳義	菅生	井上徳義	菅生
ゴルフ協会	高市彰雄	上野尻	佐伯和洋	久万町	佐伯和洋	久万町
スポーツ少年団	古田隆	菅生	久万町	久万町	久万町	久万町

平成15年度 体育協会 決算書

歳入総額	2,349,552円	
歳出総額	2,275,344円	
差引残額	74,208円	
特別会計	1,353,189円	
内訳	1,000,000円	上岡義幸氏より（伊予銀行）
	100,000円	田中純二氏より（愛媛銀行）
	253,189円	利息

歳入の部

(単位：円)

費目	本年度決算額	年度予算額	増減	備考
会費	195,000	195,000	0	各協会より
町補助金	1,530,000	1,530,000	0	久万町より
	229,000	230,000	△ 1,000	郡社会人総体
	259,200	230,000	29,200	県スポレク祭
県補助金	80,000	70,000	10,000	県体協より
雑収入	4	52	△ 48	預金利子
繰越金	56,348	56,348	0	平成14年度より
合計	2,349,552	2,311,400	38,152	

歳出の部

(単位：円)

費目	本年度決算額	本年度予算額	増減	備考
会議費	36,514	35,000	1,514	理事総会他
旅費	38,000	20,000	18,000	県体協評議員会・県体協創設80周年記念事業
役務費	6,480	5,000	1,480	
事務費	26,250	30,000	△ 3,750	賞状・封筒作成
負担金	85,000	60,000	25,000	県体協・県スポーツ振興会・県体協創設80周年記念事業
事業費	1,270,000	1,270,000	0	各協会へ
派遣費	270,000	270,000	0	部外大会
郡社会人総体補助	229,000	230,000	△ 1,000	参加チームへ配分
県スポレク祭補助	259,200	230,000	29,200	参加チームへ配分
活動補助金	0	70,000	△ 70,000	強化補助
報償費	54,900	90,000	△ 35,100	スポーツ顕彰
予備費	0	1,400	△ 1,400	
合計	2,275,344	2,311,400	△ 36,056	

永年功労賞

No.	氏名	生年月日	住所	活動種目	表彰年度
一	真木孝志	S二・三・八	上野尻	サッカー	平成一二年

体育協会一〇周年特別功労賞

No.	氏名	生年月日	住所	活動種目	表彰年度
一	小椋秀雄	M四・三・六	直瀬	体協設立貢献	昭和六〇年

体育協会功労賞

No.	氏名	生年月日	住所	活動種目	表彰年度
一	河野修	T四・二・六	上野尻	体協発展貢献	平成七年
二	日野嘉彦	T五・四・六	菅生	〃	〃
三	上岡義孝	S五・八・三	久万町	〃	〃

体育協会二〇周年特別功労賞

No.	氏名	生年月日	住所	活動種目	表彰年度
一	河野修	T四・二・六	上野尻	体協発展貢献	平成一二年

久万町B&G海洋センター所長及び育成士名簿(平成一五年四月現在)

役職	勤務形態	氏名
所長	常勤(兼)	古田隆
課長	〃(〃)	山本進
センター育成士	〃(専)	大西洋三
〃	非常勤(非)	木下勝也
特殊育成士	〃(〃)	浮田幸路
二級育成士	非常勤	菅徹夫
〃	常勤(兼)	橋本広綱
〃	〃	玉泉豊
〃	〃	佐藤理昭
〃	〃	渡部定明
〃	〃	片岡伸彦
〃	〃	植本誠滋
〃	〃	大野一仁
事務職員	常勤(兼)	山内賢彦
〃	〃(兼)	森博
〃	〃(兼)	木戸悟
〃	〃(兼)	仲渡尚美
〃	〃(兼)	今井美智子
臨時職員	非常勤	窪田正雄
		佐伯英二
		窪田成志
		菅あゆみ
		和田雅志
		河野勝利
		正岡健司
		坪谷頼都
		菅隆則
		石村光四郎
		窪田恵子
		窪田文博
		日野文博
		窪田恵子
		山崎千恵
		猪羽由秀

国体参加選手

年度	氏名	種目	所属	備考
一一	丸井美穂	少年女子ホッケー	松山南高校	四位
一二	宇都宮由生	クロスカントリースキー	上浮穴高校	
〃	白石雅也	〃	〃	
〃	丸井美穂	少年女子ホッケー	松山南高校	四位
一三	板崎良平	少年男子剣道	愛媛大学	
〃	宇都宮純斗	少年男子ラグビー	松山城南高校	
〃	石田恵里	少年女子ソフトボール	聖カタリナ高校	
〃	丸井美穂	成年女子ホッケー	愛媛大学	
〃	大野こず恵	成年女子なぎなた	三浦工業	
〃	白石雅也	クロスカントリースキー	上浮穴高校	
一四	白石雅也	クロスカントリースキー	上浮穴高校	
一五	岡本龍一	アルペンスキー	上浮穴高校	

渡部耕大君 (FIS国際スキー連盟)

開催日	大会名	成績
八月二三日	全国ジュニア選手権大会	優勝
一月二二日	長野県スノーボード選手権	二位
二月二二日	FISワールドカップ2004札幌	
二月二八日	FISワールドカップ2004新潟	
三月三日	FIS第一〇回全日本スノーボード選手	

大亀財団スポーツ賞受賞(平成一五年三月二六日受賞)

受賞年度	受賞者	事績	備考
一四年度	佐伯正俊	永年に渡って親子二代でのごどもから成人への剣道指導	スポーツ 菜の花賞
	佐伯和洋		

上浮穴産業文化会館運営委員会委員

(任期 平成13年4月1日～平成15年3月31日)

役職名	氏名	所属団体等
委員長	滝野志	久万町議会厚生文教委員長
委員	高岡明彦	久万町商工会長
〃	松岡良雄	松山市農業協同組合久万高原支所長
〃	竹本俊夫	久万広域森林組合長
〃	西田友三	久万町文化協会長
〃	黒田浩美	久万町教育委員長
〃	高岡幸友	久万町公民館連絡協議会長
〃	曾我定之	久万町老人クラブ連合会長
〃	田村昭子	久万町婦人会長
〃	小川龍彦	久万町青年団長

上浮穴産業文化会館利用状況

年度	利用人数			利用収入 円	利用回数 回	主な事業等	備考
	ホール 人	研修室 人	合計 人				
12	8,327	6,906	15,233	792,710	157	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険相談 ・町内会長・納税組合長会 ・社会保険調査 ・夏期講座 ・地域別PTA研究集会 ・人形劇 ・国際交流サマーコンサート 	
13	5,877	3,118	8,995	737,730	166	<ul style="list-style-type: none"> ・全国アメニティ大会 ・全国森林サミット ・町芸能発表会 ・生き活きまつり ・久万町生涯学習推進大会 ・市町村合併を考える会 ・ピアノ発表大会 	
14	7,132	2,534	9,666	731,690	178	<ul style="list-style-type: none"> ・わらび座公演 ・松山劇場上浮穴特別巡業 ・上浮穴郡小中音楽発表会 ・天心流夢の会チャリティショー ・郡消防合同連絡会 ・映画上演会「アンパンマン」 ・アフト企画 元祖ちび玉 	
15 (16年1月末現在)	5,666	2,561	8,227	590,670	151	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全町作りコンサート ・町長 ラグビー大会開会式 ・五神太鼓20周年記念大会 ・久万町戦没者追悼式 ・信絹弥教室おさらい会 ・愛媛ハイランド ・ミュージック音楽教室発表会 	

11 久万町レクリエーション協会

久万町レクリエーション協会役員名簿(平成一五・一六年度)

役職	氏名	住所	備考
会長	真木孝志	上野尻	レクリエーションバレーボール
副会長	真木忠三郎	〃	〃
理事長	三好雅	東明神	ゲートボール
事務局長	大西洋三	下畑野川	教育委員会
会計	大西洋三	下畑野川	〃
監事	渡部英雄	東明神	レクリエーションバレーボール
顧問	真木一男	上野尻	ゲートボール
〃	玉水寿清	父野川	町長
〃	西田友三	久万町	教育長
〃	岡田愛三	〃	体育協会会長
参与	井上徳義	菅生	体育協会理事長
〃	西田満文	露峰	体育指導委員長
理事	大野巧未	菅生	レクバレー
〃	大野保	上野尻	クロッケー
〃	小倉貞子	菅生	ゲートボール
〃	高岡ウメ子	久万町	健康体操・インディアカ
〃	井村靖博	〃	久万磯釣りクラブ
〃	名智和男	上畑野川	〃
〃	坂本好直	東明神	オリエンテーリング(個人会員)
〃	岩間清敏	入野	社交ダンス(一五、一六年度休部)

12 図書館

久万町立図書館長

年度	館長	氏名	職名	氏名
九、一〇	館長	玉水寿清	副館長	橋本広綱
一、一四	〃	古田隆	〃	富岡良子
一五、	〃	西田友三	〃	木下公昭

平成一五年度 久万町読書グループ一覽表

グループ名	所在地	代表者名	人数
ささゆり	町民館	田中明美	九
赤ずさん読書グループ	図書館	棟田栄子	五

第三章 教育委員会

一から四まで増補改訂版参照

五 平成の教育委員会

1 教育の基本方針

ア めざす教育

感謝の心に支えられた、豊かな知性・温かい心・たくましい実践力を育て、国際社会においても尊敬される、生き生きとした町民の育成

- 豊かな知性と感性を持ち、文化を愛する香り高い町民になろう。
- 感謝の気持ちを持ち、人を尊敬し大切にする町民になろう。
- スポーツを愛し健康な体づくりを進めよう。
- 生き甲斐を持ちたくましい実践力を育てる。
- 社会に貢献できる町民になろう。

イ 実施計画

1 基礎を確かに築く

(1) 確かな学力を定着させる。(知育)

- ① 基礎学力の充実
 - ② 個性に応じた教育の徹底
 - ③ 学びの喜びと充実感を持たせる。
- (2) 豊かな心を育てる。(徳育)
- ① 民主的精神と人権感覚の豊かな人間の育成

② 体験活動を重視し、社会に生きる力・ボランティアの心を育てる。

③ していただく心から、何かをさせていただく心と実践力を育てる。(要求から貢献)

(3) たくましい心と体を育てる。(体育)

- ① スポーツを愛し健康づくりにつとめる。
- ② 基礎体力の充実を図る。
- ③ 「遊(働)」 「食」 「眠」の調和した生活習慣の向上を図る。
- ④ だれもが気楽に参加できる総合型地域スポーツクラブの育成を図る。

(4) 文化活動の活性化を図る。

2 支える

(1) 家庭環境の整備を進める。

- ① 家庭生活の充実
- ② 家庭教育の見直しと充実
- ③ 基本的な生活習慣の確立

(2) 体験活動の重視

- ① 体験学習・社会体験活動の充実
 - ② ボランティア活動の推進
 - ③ 生産的・創造的活動の機会づくりと充実
 - ④ 地域活動への積極的参加
- (3) ICT教育を進める。
- ① 情報通信ネットワークを活用した学校間交流の促進

- ② 高速通信環境を授業に活用する研究の推進
- ③ コンピュータや情報通信ネットワークを活用できるIT環境の充実

④ 障害者の就業を支援するIT教育の推進

(4) 安心・安全な学校づくりの推進

① 不審者対策の充実

② 防犯ベルの着用と意識の高揚

③ 地域住民との協力的体制の強化

(5) 住民に開かれた学校・公民館活動の推進

① 地域の文化活動の拠点とした、学校・公民館活動

② 人格の基礎づくりとしての、幼稚園教育の充実

③ 地域の教育力を結集した学校教育の推進

④ 生涯教育の視点に立った学習活動の推進

⑤ 住民のニーズに応えられる公民館、コミュニティの核としての

公民館活動への支援

⑥ 地域ボランティア活動の推進

(6) 豊かな文化活動の充実を図る。

① 郷土の伝統文化に親しみ、愛護・継承する気持ちを育てる。

② 文化活動の活性化につとめる。

③ 町内の文化施設の活用の推進を図る。

④ 地域の芸術や歴史に触れる機会の拡大につとめる。

(7) 人材の活用と養成

① 隠れた人材の掘り起こしと活用

- ② 職分の自覚を高め、自己研修の充実を図る。
- ③ 各種研修を充実させて職能成長を遂げ、教育機能を高める。

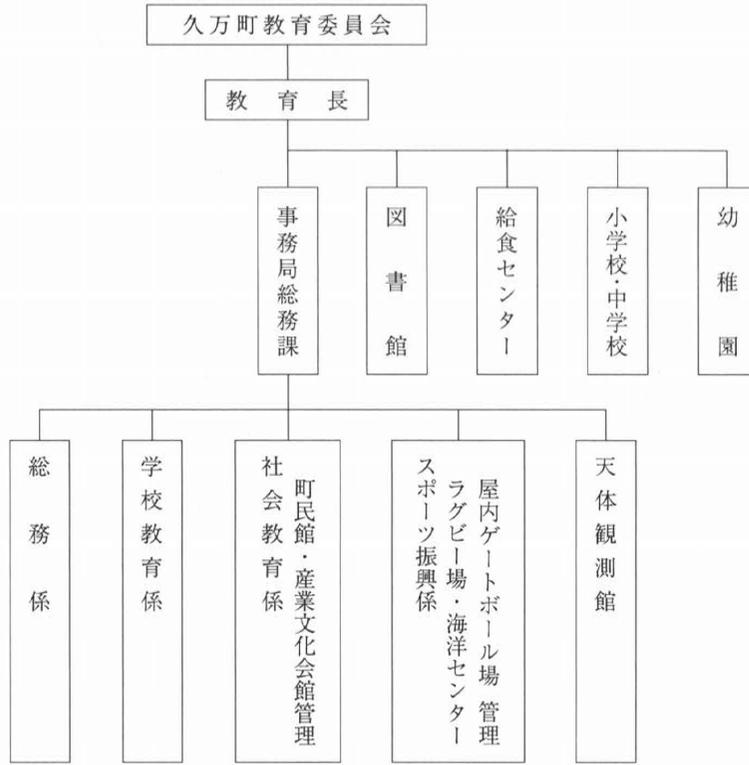
2. 久万町教育行政のあゆみ

年 月	あ ゆ み
昭和 34	3 ・久万町教育委員会発足 ・直瀬幼稚園舎落成 ・町村合併により仕七川小学校榎谷分校は久万小学校榎谷分校となる
36	4 ・明神幼稚園舎落成
37	4 ・落合分校廃校久万小学校へ統合 ・二名僻地保育所開設許可
39	5 ・直瀬中学校体育館落成
40	2 ・父二峰小学校体育館落成 3 ・久万小学校本館落成 4 ・久万小学校特殊学級設置
41	4 ・二名僻地保育所落成 ・露峰保育所2年保育開始
42	2 ・畑野川小学校体育館落成 11 ・直瀬小学校プール落成
43	12 ・二名小学校プール落成 ・久万中学校プール落成
44	4 ・直瀬幼稚園2年保育開始 8 ・明神小学校グラウンド照明完成 ・畑野川小学校プール落成
45	2 ・明神幼稚園2年保育開始 3 ・「郷土 中学校下」発刊 4 ・二名へき地保育所、露峰保育所3年保育開始 8 ・父二峰中学校プール落成
46	3 ・久万中学校グラウンド照明完成 8 ・久万小学校プール落成
47	3 ・久万町のくらし・上浮穴の生活発刊 4 ・久万幼稚園2年保育開始 7 ・久万町学校給食センター落成
48	4 ・二名小学校複式 8 ・明神小学校新プール落成
49	3 ・「上浮穴に光を掲げた人々」発刊
50	3 ・「郷土と俳諧」発刊
51	3 ・久万小学校体育館落成 ・「上浮穴農林業史」発刊 7 ・直瀬中学校グラウンド照明完成
53	1 ・久万幼稚園舎落成
54	4 ・久万小学校特殊学級閉級
55	10 ・県へき地教育研究大会（直瀬中）
56	2 ・明神小学校体育館落成 4 ・石墨小学校廃校同6年生4名直瀬小学校へ ・久万公園グラウンド落成
57	3 ・久万小学校北校舎第1期工事落成 10 ・久万町生涯スポーツフェスティバル開催 12 ・久万小学校北校舎第2期工事落成
58	4 ・B&G海洋センター落成
59	3 ・明神小学校本館・幼稚園舎落成 7 ・二名へき地保育所移転改築 12 ・二名小学校体育館落成
60	8 ・「久万の伝説」発刊

年 月	あ ゆ み
昭和 61	4 ・畑野川幼稚園落成 ・少年の森体験学習開始
63	8 ・畑野川小学校新築落成 11 ・上浮穴産業文化会館落成
平成 元	4 ・少年の森体験学習開始
2	3 ・榎谷分校閉校 ・学校給食における学校・家庭・地域の連携推進事業
3	4 ・直瀬小学校新築落成
4	3 ・久万小学校北校舎昇降機設置 4 ・久万町生涯学習推進構想樹立 9 ・町内小・中学校学校週5日制実施 10 ・県へき地教育研究大会(直瀬小)
5	5 ・屋内ゲートボール場落成 10 ・町内小・中学校へ温蔵庫設置 12 ・みどりのふるさと環境フォーラム開催 ・みどりは友だち木のノート発行
6	4 ・みどりのふるさと留学制度創設 7 ・まんまる木星探険隊交流事業開始 9 ・二名小学校山村留学生来校
7	4 ・「わたしたちの久万町」発行 ・明神小学校校舎落成 ・明神・畑野川・直瀬幼稚園3年保育開始 10 ・全国へき地教育研究大会分科会会場
8	2 ・統合久万中学校調印式 4 ・乳幼児学級開設
9	7 ・久万町立図書館開館
10	4 ・久万小学校特殊学級設置 ・家庭教育誌「強くやさしい子に」発刊
11	3 ・久万・畑野川・直瀬・父二峰中学校閉校記念式典 ・統合久万中学校校舎・屋内運動場落成 4 ・統合久万中学校開校式・入学式挙行 ・久万幼稚園3年保育開始 7 ・「田舎いっぱい体験inくま」事業実施(12) 8 ・久万中学校屋外教育環境整備事業完成
12	4 ・父二峰小学校特殊学級設置 ・「3出会いウィーク」体験事業開始 ・生涯学習出前講座開始
13	1 ・広報「くままち」広報紙町村Ⅱ部特選受賞 12 ・父二峰幼稚園設置許可
14	4 ・父二峰小学校校舎・幼稚園舎新築落成 ・直瀬小学校特殊学級設置 11 ・生涯スポーツフェスティバル'02の開催
15	3 ・「石の民俗文化財」発刊 ・第37回愛媛県クラブ駅伝競走大会開催 4 ・畑野川小学校特殊学級設置
16	3 ・二名保育所・小学校閉校 4 ・久万中学校特殊学級設置 ・父二峰小(幼)、二名小(保)統合式

3 教育委員名簿

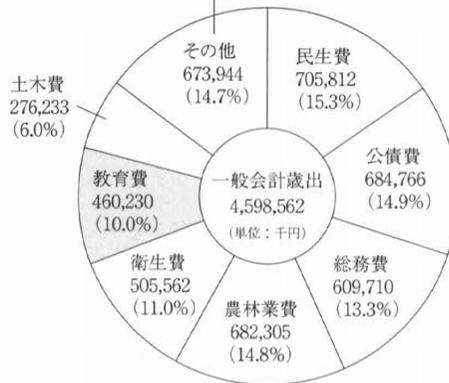
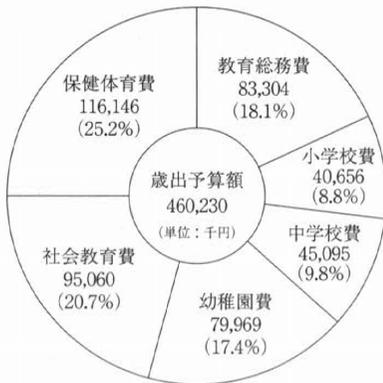
氏名	住所	就任年月日	退任年月日	略	歴
竹内 智夫	二名	昭和突・一・一	平成二・六・三	委員長	昭和三・九・三 平成元・〇・六
日野 嘉彦	菅生	〃 五・六・九	〃 三・六・八	教育長	〃 五・七・五 〃 三・六・八
石丸 剛	直瀬	〃 五・九・三	〃 五・九・三	委員長	〃 五・六・三 昭和三・九・六
高門 頼子	東明神	〃 五・三・五	〃 八・六・四	〃	平成元・〇・七 平成四・三・三
岡 信一	下畑野川	〃 三・六・九	〃 二・六・八	〃	〃 五・四・一 〃 七・三・三
村田 吉雄	露峰	平成二・六・三	〃 六・六・三	〃	〃
玉水 寿清	父野川	〃 三・六・八	〃 二・三・三	教育長	平成三・七・〇 平成二・三・三
竹井 史一	久万	〃 六・六・三	〃 三・三・三	委員長	〃 九・四・一 〃 三・三・三
高岡巳年男	直瀬	〃 五・九・三	〃 三・九・三	〃	〃 七・四・一 〃 九・三・三
渡部 恒行	下畑野川	〃 二・七・一	〃 四・一・六	〃	〃
古田 隆	上野尻	〃 二・四・一	〃 五・六・三	教育長	平成二・四・一 平成五・六・三
黒田 浩美	上野尻	〃 八・六・三	現職	委員長	〃 三・四・一 〃 二・五・三
竹内 勝美	二名	〃 三・三・九	〃	委員長	〃
大野 護	直瀬	〃 三・九・三	〃	委員長	〃
上岡 淳二	上畑野川	〃 四・三・九	〃	〃	〃
西田 友三	久万町	〃 五・七・一	〃	教育長	平成五・七・一 現職



一般会計歳出

議会費	82,069	(1.8%)
消防費	90,617	(2.0%)
商工費	500,258	(10.9%)
災害復旧費	0	
予備費	1,000	(0.1%)
諸支出金	0	

教育費歳出内訳



第五章 久万高原天体観測館

一 建築の経緯

久万高原天体観測館は、この地方の特質である高地・澄んだ空気・夜間に人口灯火等の影響を受けない。松山方面より近い等の立地条件をもとに、久万町活性化の一助として、また一般の方々から天体マニアの方々まで満足していただける施設として、ふるさと旅行村の山頂の一角に平成四年三月にオープンした。

二 施設・設備の概要

施設概要

1. 敷地面積	1,600 ^m 2
2. 施設	
(1) 管理棟・プラネタリウム木造二階建 (外観一部三層城郭風)	延べ床面積 217.30 ^m 2
* プラネタリウム (6mドーム、40席リクライニング)	
* マルチビジョン (120インチ、9面マルチスクリーン)	
(2) 天体観測館 鉄筋コンクリート二階建	延べ床面積 91.88 ^m 2
* 60cm反射赤道儀式望遠鏡	1基
(3) 仮眠棟 木造平屋建 床面積	39.69 ^m 2
(4) スライディングルーフ 木造平屋建 床面積	13.5 ^m 2 2棟
* 28cmシュミットカセグレン式望遠鏡	1基
* 20cm反射式望遠鏡	1基
* その他 小型望遠鏡	7基
◎事業費概要	
総事業費	475,724千円



▲ 星天城・プラネタリウム



◀ 天文台

三 事業・活動内容

入館者には、昼間はプラネタリウムやマルチビジョンパネル展示によって、また夜間は望遠鏡を使った天体観望会によって、星空の神秘に近づいていただけよう努めている。同時に、当館の周囲は野鳥の里としており、バードウォッチングはもちろん、野草や昆虫など自然観察の場としても活用している。

○ 管理棟及びプラネタリウム

江戸時代の城の様式を模した星天城には、六層ドーム。客席四〇のプラネタリウムがある。季節毎にプログラムを変えて星座の解説や神話の紹介を行っている。完全マニュアル（手動）投影機なので、学習投影等にも臨機応変に対応することができる。また展示ホールにはマルチビジョンを備えており、一〇〇センチの大画面で天体や野鳥のビデオを上映している。

○ 天体観測館

天文台には四国最大級の口径六〇センチのリッチークレチアン式反射鏡が納められている。コンピュータ制御によって簡単に目的の星に向けることができる。観望会では望遠鏡を直接のぞくこともできるが、カメラやビデオ

新しく星の発見と命名

開館より現在までにこの天文台で発見した小わく星は55個を数える。その中で命名した主なものとして、
 Kuma(久万) Z.Itami(伊丹十三)
 K.Tamakasuga(玉春日) H.Fujioka(藤岡弘)
 などがある。(他はプラネタリウムのロビーに写真とともに展示している。)

利用案内 (ふるさと村入口に提示)

星天城 開館時間 10:00~17:00
 (平日は13:00~17:00)
 プラネタリウム
 投影開始時間(所要時間 約40分) 定員 40名
 土・日・祝 ⇒ 11:00 13:00 15:00
 平 日 ⇒ 13:00 15:00
 ☆平日(13:00)の回は団体予約優先
 天文台 開館日及び時間 火・木・土曜日
 19:00~22:00(季節によって変化あり)
 ☆完全予約制(3ヶ月前から申込み)
 [料金] プラネタリウム・天文台共
 大人 高・大学生 幼・小・中学生
 500円 400円 300円
 [☆休館日 毎週月曜日 及び祝・祭日の翌日]

オによつて撮影も可能である。

さらに、電子冷却式のCDカメラを装着して、大変暗い星を観察することもでき、研究用としても十分な能力を備えている。

○ その他

天文台には、中型の望遠鏡を納めたスライディング式の観測棟を二棟併設している。それぞれ口径二八センチ、二〇センチの望遠鏡が備えつけられている。また、天体観測が深夜まで行われる場合に休息したり、仮眠をとるための施設として仮眠棟も併設している。

利用状況(入館者数)

	平成11年度	12年度	13年度	14年度
星天城 (含プラネタリウム)	4,638人 (3,300人)	4,516人 (3,248人)	3,913人 (2,686人)	4,741人 (3,142人)
天文台 (含仮眠棟)	1,197人	1,145人	1,868人	1,263人
合計	5,835人	5,661人	5,781人	6,004人

第六章 久万町立図書館

一 建築の経緯

町では、幼児から老人までの幅広い年齢層で生涯学習活動が盛んに進められてきた。近年、生活様式および学習要求の多様化等、住民ニーズの高度化に対応する施設として新しい図書館建設の要望が高まった。また、現在の町民館内にある図書館が手狭になったこと、高度情報化社会に対応したAV機器等の設備を有していないことから、若者による図書館の活用・定住の促進・地域活性化のため、平成九年七月、国道三三三号線沿いに、地場産業である木材の利点を活かした木造図書館が建設された。

二 施設・設備の概要

施設概要	
木造瓦葺	999.51㎡
駐車場	11台収容
収蔵能力	約72,200冊
	（開架 約42,800冊 閉架 約29,400冊）
総事業費	582,230千円

施設・設備については、閲覧コーナーやAV視聴覚コーナーのほか、幼児・児童向けのお話しコーナー・朗読室等を整備している。また、管内は冷房装置を置かず、夏期は久万高原の涼しさを生かして、天井を高く、窓を大きくし、冬期は全館を床暖房にして、利用者は下足を脱いで入館するようにしている。



▲ 全 景



◀ 内 部

収集資料についても久万町らしく林業関係資料のほか、郷土資料・児
童書を重点的に収集していく予定である。

駐車場より玄関までは車道・広い階段のほかに身障者の車椅子や老人
が利用できる長いスロープの通路が付けられている。

三 蔵書・活動内容

活動内容

開館時間	火～日曜日 9:30～18時	
休館日	毎週月曜日及び第3日曜日 祝日・月末整理日・年末年始 特別整理期間	
利用者数		
平成9年度 (8月より)	16,237人	4,225点 (機器利用を含む)
平成10年度	19,027人	53,612点
平成11年度	18,872人	51,741点
平成12年度	17,561人	49,041点
平成13年度	17,876人	51,815点
平成14年度	17,443人	51,668点
平成15年度	15,252人	43,309点 (16年1月現在)

移動図書館（やまびこ）

月5回巡回	
第1木曜日	直瀬地域
第2水曜日	露峰地域
第3木曜日	二名地域
第4木曜日	畑野川地域
第5木曜日	明神地域

平成16年8月より
合わせて第2木曜
日にする予定

その他

平成10年5月、社団法人照
明学会（坂田真会長）より、
館内外の照明施設について
照明普及賞（優秀施設賞）
を受ける。